●コーディネーター：大住 広太（弁護士。日本反核法律家協会事務局次長）

●登壇者と発言テーマ

・青木 美希（ジャーナリスト）

「それでも日本に原発は必要なのか？」--- 地震国日本で、日本政府は再び原発最大限活用、再エネ圧迫に戻しました。世界最大の電力源が再エネとなるなか、日本がこれ以上、落ちぶれないために、私たちはどうしたらいいのでしょうか。

・山田 寿則（明治大学講師。日本反核法律家協会理事）

「原発と核兵器――NPT の視点から考える」--- 原子力発電には常に軍事利用の問題がつきまとう。原発で利用される物質や技術、能力が核兵器開発に結びついているからだ。これは、利用する側の意図とは別の問題であり、原発と向き合おうとするとき、核兵器の問題を避けて通ることはできない。この問題を核不拡散条約（NPT）の視点から考える。

・佐々木 亮（聖心女子大学准教授。日本国際法律家協会事務局長）

「原発と人権－国際人権基準から考える」--- 原発事故は、何年にもわたってその影響を残します。現在でも避難生活を余儀なくされている人や放射線汚染水の海洋放出に伴う問題が続いており、国際社会からも、生命や健康に対する人間の基本的権利の侵害が指摘されています。また、このような大きなリスクが、国民に十分知らされてこなかったのは、情報を得る権利の侵害でもあります。国際人権基準の視点から、原発・原子力政策の問題点を考えます。

・永井 怜衣（作家）

参加者をいくつかのグループに分け、永井さんが問いかけるテーマについて参加者同士で「対話」をしてもらい、「人間と核の関係」を主体的な参加で深めたい。

■ 閉会式（16:00 ～ 16:20）

・閉会挨拶：鈴木 浩（ふくしま現地実行委員会委員長）

福島の地で開催される第７回集会
福島で向き合うからこそ生まれる問いをともに

会場：福島大学（L 講義棟）
オンライン参加も出来るハイブリッド集会





【宿泊手配について】

前泊を含め、宿泊の手配は各自でお願いいたします。
福島駅周辺などの宿泊施設をご利用ください。

【クルマでお越しになる方について】

駐車料金：1 時間未満は無料、1 時間～ 2 時間未満は 200 円、2 時間～ 3 時間未満は 300 円、3 時間～ 4 時間未満は 400 円、4 時間～ 24 時間までは上限 500 円。

日帰りオプショナルツアー参加者募集
集会終了翌日（9/28）、チャーターバスで巡る

2026 09/28（月）

～東日本大震災から15年～
現地見学ツアー

ツアーパンフレット

東日本大震災と福島第一原発事故から 15 年。
当集会での議論を踏まえ、今も続く課題を見つめる 1 日行程の現地視察ツアーを実施いたします。
お申込みは、当ツアーの企画・実施を担当する 富士国際旅行社まで。

旅行代金 12,000円　実施人数 40名様（最低実施人数20名様）
申込締切 9月11日(金)　添乗員 同行なし・説明人同乗

- 福島駅西口（出発）
- 南相馬市復興工業団地無人航空機エリア
- 浪江町棚塩産業団地ロボットテストフィールド
- 浪江町請戸小学校遺構
- 双葉町旧役場視察
- 県立富岡高校校門前（車窓）
- 楢葉町宝鏡寺・伝言館
- 昼食（お弁当）
- 広野町ＪヴィレッジＪ（東電が無償提供）
- いわき市道の駅「よつくら港」
- いわき駅着（解散）

Peace Green Humanity
(株)富士国際旅行社
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7 ヒューリックみなとみらい 11F-4
（営業日：月～金 10:00 ～ 18:00）TEL：045-212-2101 FAX：045-212-2201
Mail: fuji@fits-tyo.com 担当：山田・西須・川村・小島

●ご連絡・お問合せ
第７回「原発と人権」全国研究・市民交流集会 実行委員会事務局
海部幸造（TEL：03-3736-1141 東京南部法律事務所）

ご用件に応じて「運営関係者向け」と「参加者向け」2 種類の問い合わせフォームをご用意しています。PC からもご利用になれます。

20260805